

日 時：2015 年 3 月 13 日（金）15 時～17 時

場 所：土木学会 A B 会議室

出席者：

二羽委員長、岩波幹事長、石田、下村、濱田、久田、丸屋の各常任委員兼幹事、上田、氏家、内田、鎌田、河合、河野、岸、佐伯、島、添田、武若、田中、谷村、土谷、津吉、名倉、信田、橋本、松田、松村、丸山、宮川、睦好、森、渡辺の各常任委員、二瓶事務局員

配布資料：

- 6-0 平成 26 年度第 6 回コンクリート常任委員会議事次第
- 6-1 平成 26 年度第 5 回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 6-2 規準関連小委員会今後の活動方針について
- 6-3 平成 27 年度土木学会全国大会開催に伴う研究討論会企画募集への応募
- 6-4 平成 26 年度コンクリート委員会一般会計予算（案）
- 6-5 コンクリート構造物の品質確保小委員会（350 委員会）委員構成
- 6-6 平成 27 年度重点研究課題（研究助成金）申請書
- 6-7 公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成申請書
- 6-8 第 15 回コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム投稿・発表・参加募集
- 6-9 Workshop on Durability Aspect of Reinforced Concrete Structures の案内

議事：

1. 平成 26 年度第 5 回コンクリート常任委員会議事録の確認

丸屋幹事より、平成 26 年度第 5 回コンクリート常任委員会議事録（案）（資料 6-1）の報告がなされた。異議なく承認された。

関連して、鎌田委員より、コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会（225 委員会）の成果報告会が 2015 年 9 月 11 日から 9 月 8 日（火）に変更になったことが報告された。

2. コンクリート教育研究小委員会 委員長交代

渡辺委員より、コンクリート教育研究小委員会の委員長の退任の申し出があった。異議なく承認された。新委員長を谷村委員とすることが承認された。

3. 規準関連小委員会の今後の活動方針

久田幹事（規準関連小委員会委員長）より、資料 6-2 に基づき、規準関連小委員会の今後の活動方針が説明された。続いて、プロジェクターを用いて、電子版の規準編のプロトタイプについて説明がなされた。これらに対して、以下の意見が出された。

- ・研究途上の事項など必ずしも固定した試験方法を示さなくてもよい。
- ・規準化や改訂を提案したいときの手続きはどうすればよいのか。
→規準関連小委員会に提案すればよい。
- ・どのような試験方法のニーズがあるかをアンケートなどで調べてほしい。
- ・ISO との関係について。
→JCI からの ISO の照会には従来通り対応する。既存の ISO との整合については検討したい。
- ・規準編に掲載する規準は、成熟したものを対象とするのか、新しいもの最先端のものを掲載する

のか。

→その辺のスタンスも検討したい。

- ・使えない規準とならないように、示方書改訂小委員会と連絡をとって示方書との連携を図られたい。
- ・2018年9月に次期示方書維持管理編が出版される予定であるので、その時に同時に出版することも視野に入れてはどうか。

これらの意見を踏まえて、4月以降、委員会構成を検討し、活動を開始することとなった。

4. 全国大会研究討論会の企画

岩波幹事長より、資料6-3に基づき、全国大会研究討論会の企画案が説明された。案は承認され、このまま進めてよいこととなった。

座長に岩波幹事長が推挙され、承認された。また、地方創生の視点が重要であることが確認された。

5. 平成26年度コンクリート委員会予算執行状況

岩波幹事長より、資料6-4に基づき、予算執行状況が説明された。年度末の残予算については、示方書仕掛金の金額で調整することが報告された。

6. 第3種委員会の委員構成

丸屋幹事より、資料6-5に基づき、コンクリート構造物の品質確保小委員会(350委員会)の委員構成が報告された。

7. 平成27年度重点研究課題(研究助成金)への応募

岩波幹事長より、資料6-6に基づき、平成27年度重点研究課題(研究助成金)に応募したことが報告された。残念ながら不採択であることが報告された。

8. 平成27年度ジョイントセミナーへの応募

岩波幹事長より、資料6-7に基づき、公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成に申請したことが報告された。本件は、無事採択されたことが報告された。鎌田委員より、学会からフィリピン分会の活性化につながる活動が期待されていることが補足された。

9. 100周年記念出版について

丸屋幹事より、コンクリート委員会からの100周年記念出版「日本が世界に誇るコンクリート技術」の販促状況と売上状況が紹介された。

10. 報告会・講習会の開催予定

(1) 第15回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレードシンポジウム

鎌田委員より、資料6-8に基づき、第15回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレードシンポジウム(2015年10月16日17日、京都にて開催)の投稿・発表・参加募集が紹介され、積極的な参加が呼び掛けられた。

(2) Workshop on Durability Aspect of Reinforced Concrete Structures

石田幹事より、資料6-9に基づき、Workshop on Durability Aspect of Reinforced Concrete Structures(2015年6月4日長崎にて開催)が紹介され、積極的な参加が呼び掛けられた。

1 1. 委員長挨拶

二羽委員長より、平成 26 年度コンクリート常任委員会の最終回ならびに二羽委員長の任期満了に際して、挨拶があった。4 年前の東日本大震災の調査が最初の活動であったこと、当時は「コンクリートから人へ」というスローガンが掲げられていたこと、震災後に津波波力、がれき処理に関する研究活動を通じて社会貢献できたこと、笹子トンネルの事故が起きたことを受け、あと施工アンカー、トンネルの耐火性に関する指針を刊行したこと、2012 年、2013 年版の示方書を刊行したこと、土木学会 100 周年記念事業に関連して、「日本が世界に誇るコンクリート技術」を出版したこと、を振り返った。最後に、任期中のコンクリート常任委員の尽力に対し、ねぎらいと感謝の言葉が述べられた。

1 2. 話題提供

常任委員会終了後、関東支部の委員より以下の話題提供があった。

(1) 丸山委員

橋梁構造物に作用する津波の力について

(2) 森委員

汚染水貯蔵用 PC タンク委員会、PC 床版による高速道路床版の更新について

以 上